



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年 11月 11日



上場会社名 株式会社 な と り
コード番号 2922

上場取引所 東
URL <http://www.natori.co.jp/>

代 表 者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 名 取 三 郎

問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 小 林 眞 TEL (03) 5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成23年 11月14日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,791	0.7	400	△53.1	408	△51.9	210	△50.6
23年3月期第2四半期	15,686	0.7	854	15.6	849	12.8	425	23.1

（注）包括利益 24年3月期第2四半期 224百万円（△44.2％） 23年3月期第2四半期 402百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	14.59	—
23年3月期第2四半期	29.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,507	14,825	60.5
23年3月期	25,198	14,702	58.3

（参考）自己資本 24年3月期第2四半期 14,825百万円 23年3月期 14,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	33,000	0.3	940	△38.4	1,000	△34.1	540	△24.8	37.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無
(注) 詳細は、【添付資料】P. 5「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- | | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期2Q | 15,032,209株 | 23年3月期 | 15,032,209株 |
| 24年3月期2Q | 619,750株 | 23年3月期 | 619,680株 |
| 24年3月期2Q | 14,412,489株 | 23年3月期2Q | 14,542,637株 |
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
【四半期連結損益計算書】	8
【四半期連結包括利益計算書】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
5. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間における我が国は、東日本大震災により、企業活動は一時大きく落ち込みました。しかし、サプライチェーンの修復が予想以上のペースで進んだことから、供給面の制約がほぼ解消しており、足元の景気は概ね震災前の回復歩調を取り戻しつつあります。その一方、欧州のソブリン危機や米国経済の失速懸念など、世界経済の見通しは厳しく、円高も加わり、今後も予断を許さない状況にあります。

この間、食品業界では、原材料価格の上昇に加えて、原発事故による放射能問題で、食品に対する安全・安心への関心がより一層高まる等、経営環境は厳しさを増しております。

当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高 157 億 91 百万円（前年同四半期比 0.7%増）、営業利益 4 億円（同 53.1%減）、経常利益 4 億 8 百万円（同 51.9%減）、四半期純利益 2 億 10 百万円（同 50.6%減）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

期 別 区 分		前第 2 四半期 〔自平成22年4月1日 至平成22年9月30日〕		当第 2 四半期 〔自平成23年4月1日 至平成23年9月30日〕		差引増減額・率	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
食品製造販売事業	水産加工製品	7,894	50.3	8,178	51.8	284	3.6
	畜肉加工製品	1,943	12.4	1,979	12.5	36	1.9
	酪農加工製品	2,482	15.8	2,639	16.7	156	6.3
	農産加工製品	457	2.9	438	2.8	△19	△4.3
	すなっくな珍味製品	27	0.2	14	0.1	△12	△47.0
	小物菓子製品	226	1.4	236	1.5	9	4.3
	素材菓子製品	746	4.8	689	4.4	△56	△7.6
	チルド製品	259	1.7	119	0.7	△139	△53.8
	その他製品	1,510	9.6	1,352	8.6	△158	△10.5
	計	15,548	99.1	15,647	99.1	99	0.6
不動産賃貸事業計		138	0.9	143	0.9	5	4.1
売上高合計		15,686	100.0	15,791	100.0	105	0.7

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

（食品製造販売事業）

第 1 四半期では、震災の影響による包装資材調達の支障などにより、前期比で売上減となりましたが、第 2 四半期は主力製品の拡販や新製品の市場投入に注力した結果、食品製造販売事業の当第 2 四半期連結累計期間における売上高は、156 億 47 百万円（同 0.6%増）となり、第 1 四半期の遅れを取り戻すことが出来ました。

製品群別に分類しますと、水産加工製品は、特に震災の影響で第 1 四半期は売上が前年を大きく下回っていましたが、揚げ物、いかがプラスに転じ、また、「懐かしい甘口いかげそ」、荳わかめ、チーズかまぼこ等も売上増加に貢献し、水産加工製品全体としては増収となりました。畜肉加工製品は、エバラ食品工業株式会社とコラボレーションした新製品「焼肉のたれ味ビーフジャーキー」等が貢献し、また、ドライソーセージが震災による売上の遅れを取り戻したことにより、増収となりました。酪農加工製品は、チーズ鱈製品が拡販により売上を伸ばし、新製品「おつまみチーズ カマンベールチーズ入り」の貢献もあり、増収となりました。農産加工製品、すなっくな珍味製品、素材菓子製品、チルド製品、その他製品は、減収となりました。小物菓子製品は、駄菓子の「ペンシルカルパス」が売上増加に貢献し、増収となりました。

利益面では、売上が増加したことに加え、合理化や現場改善を目的とした設備の導入など、生産性の向上に努めましたが、原料高騰の影響を受け原料調達コストが上昇し、売上総利益は 51 億 73 百万円（同 8.5%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、第 1 四半期の遅れを取り戻すべく拡販に努めたことにより販売促進費用

等は増加しましたが、継続的なコストコントロールに努めた結果、48億22百万円（同0.3%減）となりました。

この結果、営業利益は3億51百万円（同57.2%減）となりました。

（不動産賃貸事業）

売上高は1億43百万円（同4.1%増）、営業利益は49百万円（同44.8%増）となりました。

		前第2四半期 〔自平成22年4月1日 至平成22年9月30日〕		当第2四半期 〔自平成23年4月1日 至平成23年9月30日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	15,686	100.0	15,791	100.0	105	0.7
	売上総利益	5,690	36.3	5,223	33.1	△467	△8.2
	販管費	4,836	30.9	4,822	30.6	△13	△0.3
	営業利益	854	5.4	400	2.5	△453	△53.1
	経常利益	849	5.4	408	2.6	△440	△51.9
	第2四半期純利益	425	2.7	210	1.3	△215	△50.6

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、245億7百万円（前連結会計年度末比6億91百万円減）となりました。

資産の部では仕掛品、原材料及び貯蔵品、リース資産などが増加しておりますが、現金及び預金、受取手形及び売掛金、建物及び構築物などの減少により総資産が減少いたしました。

負債の部では、支払手形及び買掛金、短期借入金などが増加しておりますが、未払金、未払法人税等、未払消費税等、長期借入金等の減少により負債合計は96億81百万円（同8億14百万円減）、純資産の部では利益剰余金の増加により、純資産合計が148億25百万円（同1億23百万円増）となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比2.2ポイント増の60.5%となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、5億13百万円（前連結会計年度末比8億75百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億41百万円の支出（前年同四半期は17億79百万円の収入）となりました。主に、たな卸資産が5億86百万円増加したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億39百万円の支出（前年同四半期は16億54百万円の支出）となりました。主に、工場における生産設備の導入等、有形固定資産の取得による支出が2億92百万円となったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億94百万円の支出（前年同四半期は1億26百万円の支出）となりました。主に、短期借入金の増減による収入が2億円となった一方で、長期借入金の返済が3億35百万円、配当金の支払額が1億1百万円となったこと等によるものです。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成 22 年 3 月期 第 2 四半期	平成 23 年 3 月期 第 2 四半期	平成 24 年 3 月期 第 2 四半期
自己資本比率 (%)	59.7	59.0	60.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	48.7	46.2	44.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	256.3	239.0	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	84.2	80.0	—

(注)自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しています。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、平成 23 年 6 月 15 日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,762,139	806,850
受取手形及び売掛金	5,101,301	4,891,201
商品及び製品	723,658	620,647
仕掛品	558,911	618,690
原材料及び貯蔵品	2,224,973	2,854,462
その他	339,371	349,079
貸倒引当金	△1,440	△1,113
流動資産合計	10,708,915	10,139,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,873,224	7,673,482
土地	4,261,714	4,261,714
その他（純額）	1,383,663	1,439,735
有形固定資産合計	13,518,602	13,374,933
無形固定資産	146,865	145,969
投資その他の資産	※1 824,149	※1 846,386
固定資産合計	14,489,617	14,367,288
資産合計	25,198,533	24,507,106

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,932,860	3,062,584
短期借入金	1,279,000	1,479,000
1年内返済予定の長期借入金	671,468	671,468
未払法人税等	310,167	166,558
賞与引当金	319,916	442,518
役員賞与引当金	22,000	11,000
その他	2,144,737	1,259,765
流動負債合計	7,680,150	7,092,895
固定負債		
長期借入金	1,507,115	1,171,381
退職給付引当金	271,553	285,785
役員退職慰労引当金	405,610	431,060
資産除去債務	4,798	4,798
負ののれん	7,218	3,609
その他	619,848	691,819
固定負債合計	2,816,144	2,588,454
負債合計	10,496,294	9,681,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	10,959,650	11,069,069
自己株式	△509,057	△509,113
株主資本合計	14,716,641	14,826,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,403	△248
その他の包括利益累計額合計	△14,403	△248
純資産合計	14,702,238	14,825,755
負債純資産合計	25,198,533	24,507,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)
売上高	15,686,300	15,791,689
売上原価	9,995,838	10,568,298
売上総利益	5,690,461	5,223,390
販売費及び一般管理費	*1 4,836,322	*1 4,822,616
営業利益	854,138	400,774
営業外収益		
受取配当金	7,843	9,506
受取賃貸料	12,990	14,663
その他	16,447	19,764
営業外収益合計	37,281	43,934
営業外費用		
支払利息	22,302	17,390
賃貸費用	20,058	18,729
その他	13	—
営業外費用合計	42,374	36,119
経常利益	849,045	408,589
特別利益		
固定資産売却益	980	415
貸倒引当金戻入額	2,180	—
特別利益合計	3,161	415
特別損失		
固定資産除却損	407	845
投資有価証券評価損	66,302	13,312
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,835	—
特別損失合計	88,545	14,158
税金等調整前四半期純利益	763,661	394,846
法人税等	338,179	184,540
少数株主損益調整前四半期純利益	425,481	210,306
四半期純利益	425,481	210,306

【四半期連結包括利益計算書】
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	425,481	210,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,179	14,155
その他の包括利益合計	△23,179	14,155
四半期包括利益	402,302	224,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402,302	224,461
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第 2 四半期連結累計期間	当第 2 四半期連結累計期間
	(自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)	(自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	763,661	394,846
減価償却費	428,773	427,339
負ののれん償却額	△3,609	△3,609
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,537	△326
賞与引当金の増減額 (△は減少)	125,510	122,602
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,500	△11,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	34,025	25,450
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△657	14,232
受取利息及び受取配当金	△8,262	△9,579
支払利息	22,302	17,390
固定資産売却損益 (△は益)	△980	△415
固定資産除却損	407	845
投資有価証券評価損益 (△は益)	66,302	13,312
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,835	—
売上債権の増減額 (△は増加)	544,113	210,099
たな卸資産の増減額 (△は増加)	378,760	△586,256
仕入債務の増減額 (△は減少)	265,591	90,918
未払消費税等の増減額 (△は減少)	118,544	△105,934
その他	△350,382	△604,656
小計	2,387,896	△4,741
利息及び配当金の受取額	7,982	9,835
利息の支払額	△22,230	△16,666
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△594,145	△330,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,779,503	△341,704
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△80,000	80,000
有形固定資産の取得による支出	△1,536,412	△292,948
有形固定資産の売却による収入	4,600	1,250
投資有価証券の取得による支出	△34,271	△16,071
その他	△8,198	△11,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,654,282	△239,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△350,000	200,000
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△336,334	△335,734
自己株式の取得による支出	△63	△56
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△38,497	△57,496
配当金の支払額	△101,542	△101,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,437	△294,446
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,217	△875,288
現金及び現金同等物の期首残高	1,893,726	1,389,094
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,938	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ ¹ 1,880,570	※ ¹ 513,806

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	15,548,225	138,074	15,686,300	—	15,686,300
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,548,225	138,074	15,686,300	—	15,686,300
セグメント利益	819,832	34,306	854,138	—	854,138

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	15,647,985	143,703	15,791,689	—	15,791,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,647,985	143,703	15,791,689	—	15,791,689
セグメント利益	351,110	49,664	400,774	—	400,774

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
※1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額	※1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額
投資その他の資産 13,634 千円	投資その他の資産 12,582 千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。
販売促進費 1,085,372 千円	販売促進費 1,169,743 千円
給料及び手当 1,315,198 千円	給料及び手当 1,289,115 千円
賞与引当金繰入額 236,572 千円	賞与引当金繰入額 247,735 千円
役員賞与引当金繰入額 7,500 千円	役員賞与引当金繰入額 9,900 千円
退職給付費用 36,283 千円	退職給付費用 39,467 千円
役員退職慰労引当金繰入額 34,025 千円	役員退職慰労引当金繰入額 33,775 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。	※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。
現金及び預金勘定 2,353,610 千円	現金及び預金勘定 806,850 千円
預入期間が3カ月を超える定期預金 △473,040 千円	預入期間が3カ月を超える定期預金 △293,044 千円
現金及び現金同等物 1,880,570 千円	現金及び現金同等物 513,806 千円